

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成17年11月24日(2005.11.24)

【公開番号】特開2003-159759(P2003-159759A)

【公開日】平成15年6月3日(2003.6.3)

【出願番号】特願2002-299137(P2002-299137)

【国際特許分類第7版】

B 3 1 B 1/84

【F I】

B 3 1 B 1/84 3 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成17年10月11日(2005.10.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】成形、充填およびシールを行う包装機械上において底壁密閉且つ頂部開放された2つのカートンに対し、開口に挿入されて固定される2個の蓋をそれぞれ同時に取り付ける回転式蓋取付け装置であって、

本体と、

第1の長手方向に静止される部分および第2の長手方向に移動可能な部分を有し、前記第1および第2の部分が可動部分の長手方向の動きに關係なく共に回転可能な回転シャフトと、

第2の長手方向に移動可能なシャフト部分を移動させるための長手方向駆動装置と、シャフトを回転させるために両シャフト部分の一方に作動連結された回転駆動装置と、カートンへ向かう方向および離れる方向へ移動するように、長手方向に移動可能な部分に作動連結された、スパークを有する取付け部材と、

蓋を移動してそれぞれのカートンに係合させるために、蓋を支持するように取付け部材に取り付けられた少なくとも4つの蓋支持部材と、

カートンに蓋を密閉するために、その開口内に蓋を位置されたカートンと係合および係合解除するように移動可能な、長手方向に移動可能なシーリング部材とを含む回転式蓋取付け装置。

【請求項2】第2のシャフト部分を長手方向に移動させるために第2のシャフト部分が第1のシャフト部分に対して入れ子式に伸縮する請求項1に記載された回転式蓋取付け装置。

【請求項3】4つのスパークを含み、各スパークがその端部付近に蓋支持部材を有する請求項1に記載された回転式蓋取付け装置。

【請求項4】成形、充填およびシールを行う包装機械上において底壁密閉且つ頂部開放された2つのカートンに対し、開口に挿入されて固定される2個の蓋をそれぞれ同時に取り付ける回転式蓋取付け装置であって、

本体と、

第1の長手方向に静止される部分および第2の長手方向に移動可能な部分を有し、前記第1および第2の部分が可動部分の長手方向の動きに關係なく共に回転可能な回転シャフトと、

第1および第2のシャフト部分を回転させる手段と、

第2のシャフト部分を長手方向へ移動させる手段と、

カートンへ向かう方向および離れる方向へ移動可能な取付け手段と、

蓋を支持するために取付け手段に取り付けられた蓋支持手段と、

カートンに蓋を密閉するために、その開口内に蓋を位置されたカートンと係合および係合解除するように移動可能なシーリング部材とを含む回転式蓋取付け装置。

【請求項 5】 シーリング部材をカートンに係合させる、また係合解除させるように移動可能な手段を含む請求項 4 に記載された回転式蓋取付け装置。